

Wo

arks & Special

al Interview

私たち共信コミュニケーションズは、映像技術やデータ処理技術を通じて、
付加価値を創造し安心してお使い頂ける、最適化されたソリューションの提供により
お客様の業務課題を解決し、お客様と共に発展して行くことを願っています。

Crystal LED for Car Design

WORKS

車の実寸大表示が可能な
Crystal LEDのサイズ

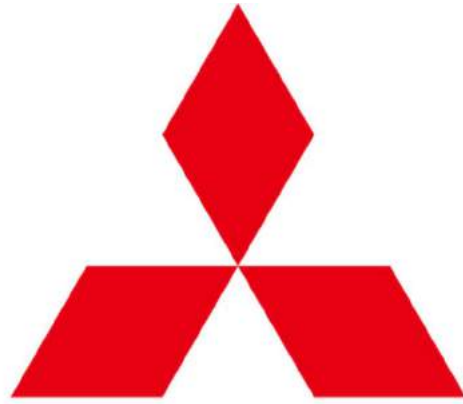
横 5600mm
高 2300mm

圧倒的な臨場感を生み出す
Crystal LEDの解像度

横 4480pixel
縦 1800pixel

Crystal LEDの性能を引出す
プレイアウト製品群

GPUワークステーション
カンファレンスシステム



**MITSUBISHI
MOTORS**

岡崎・東京・フランクフルト 3極体制でデザイン開発を推進

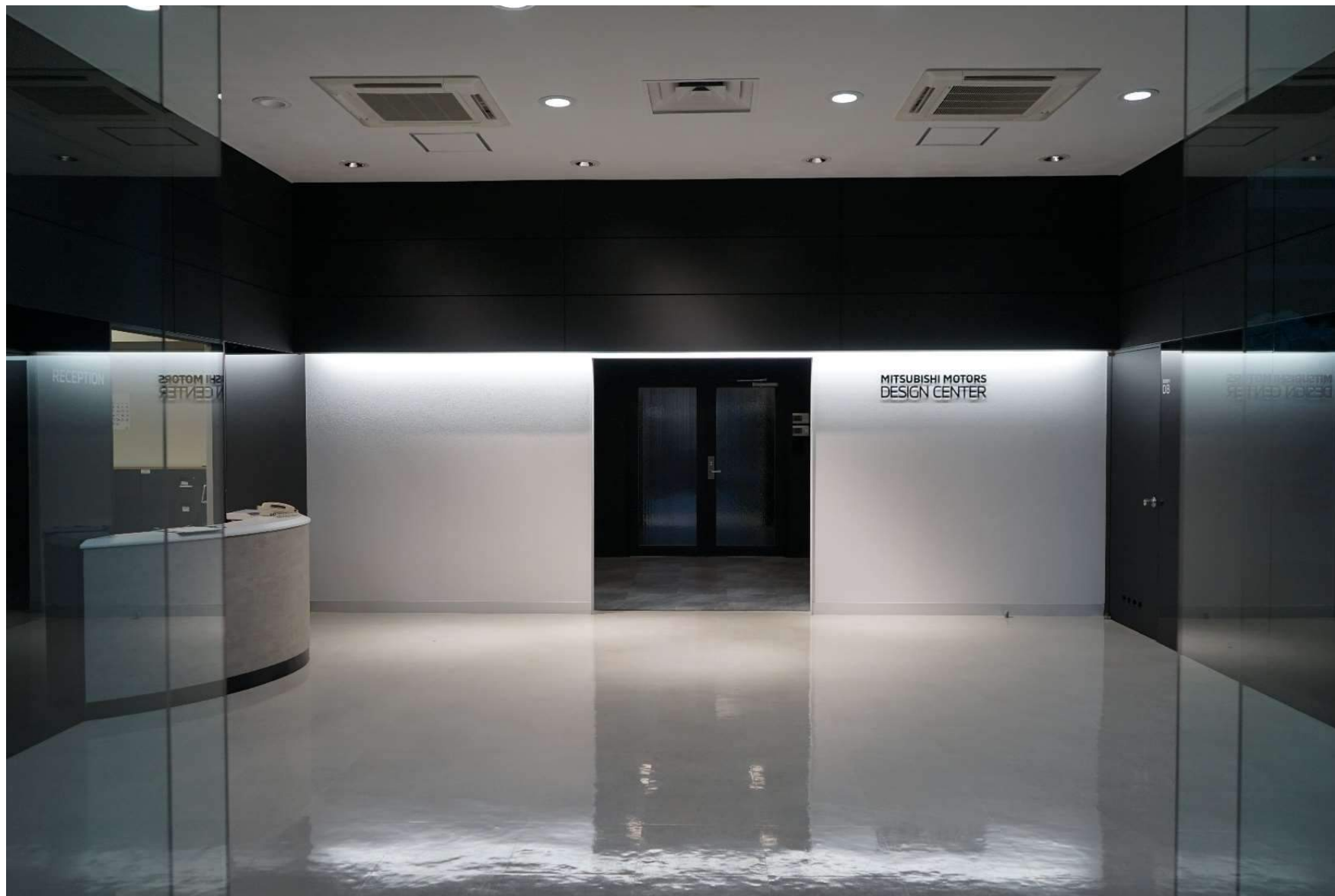
デザインセンター（愛知県・岡崎市）、東京デザインスタジオ（東京都・港区）、欧州スタジオ（ドイツ・フランクフルト）の3極体制により、グローバルでダイバーシティのあるデザイン開発を推進する三菱自動車様。

岡崎・東京・フランクフルト それぞれの役割

デザインセンターは、三極体制の中核としてデザイン部門を統括するとともに、研究・開発部門と連携して先行デザインおよび量産車のデザイン開発を担い、東京デザインスタジオでは、グローバル都市・東京の地の利を生かした最新トレンドやライフスタイルの調査を行いながら、先行段階のデザイン開発を中心にモデル開発までを行い、欧州スタジオでは、海外拠点としてグローバルな人材により、欧州のデザイントレンドを取り入れたデザイン開発・モデル開発を行っています。

岡崎・東京 2拠点にCrystal LEDディスプレイを導入

共信コミュニケーションズ株式会社(本社：東京都品川区、対応営業所：愛知県名古屋市)は、Crystal LEDディスプレイシステム（以下、Crystal LED）、GPU搭載ワークステーション、カンファレンスシステムを導入致しました。



岡崎デザインセンター

3極体制の中核としてデザイン部門を統括するとともに、研究・開発部門と連携して先行デザインおよび量産車のデザイン開発を担っています。





Crystal LEDディスプレイシステムの導入背景と役割について

Introduction Background and Role of Crystal LED Display System

立場の異なる4人、各々の視点からお話を頂きました

We had a story from four people with different positions from each point of view

國本 恒博様
常務執行役員 デザイン本部長



三菱自動車のデザイン開発を担う責任者としてデザインそのもの、三菱自動車の車両のデザイン開発そのものの責任を持つ。

アレッサンドロ・ダンブロシオ
デザイン本部エグゼクティブ・デザイン・ダイレクター



岡崎、東京に加え、フランクフルトのスタジオも担当。デジタルプロセスでのデザイン開発経験を生かし指揮を執っている。

竹林 恵司様
デザイン本部デザインマネジメント部長



デザインのモデル制作とそれをビジュアライズするチームの統括に加え、設備の導入や運用管理などを担当。

長田 篤様
デザイン本部主任



IT系設備導入・運用の担当及び、CG制作を担当。

國本 恒博様

常務執行役員 デザイン本部長



01

極めて精度の高い意志決定

02

Topが語るCrystal LEDのアドバンテージ

03

新たな希望

04

共信コミュニケーションズ

01 極めて精度の高い意志決定

Highly accurate decision-making

私はデザイン本部長としてまた三菱自動車のデザイン開発を担う責任者として、デザインそのもの、三菱自動車の車両のデザイン開発そのものの責任を持ちます。三菱自動車のブランドを“デザインを通して”どのように醸成していくかを常に考えています。三菱は骨格にあるのはやはりSUV、そして技術というところがありまして、そういったところを背景にSUV社を中心に三菱の車両を開発していくということになります。

三菱自動車ではデザインのクリエイティビティーを高めていくために本部の岡崎、そして東京、フランクフルトの3つの拠点にデザインスタジオを開きデザイン開発を行っています。日本の中でも東京は非常に特異なインターナショナルな感じということもあり、海外に対して非常に魅力がある部分があります。東京をクリエイティブなスタジオとし非常にハイブリッドなダイバーシティの高い人材のスタジオとして創り、本部の岡崎、フランクフルト、そして東京の3つのコンペ

のやれる、そしてクリエイティビティーをリードする役割を東京が担って欲しいというのが私の期待です。

デザインの開発は、非常に長い時間がかかるものです。しかし、世の中の変化や技術の進化のスピードなどが早くなっている中、デザインの開発をより効率的にかつスピーディーに、しかも高い精度で行っていかねればなりません。そういう意味でいうと、デジタルによるデザインの開発、今までの自動車の開発というのは粘土を作り1/1スケールで開発していくところがあるのですが、それを大幅にデジタル化していくということを期待しています。そこで昨年（2018年）、デザインのデジタルライゼーションで経験のあるアレックス・ダンブロシオ氏をデザイン本部に招きました。

デザイン開発のさまざまなプロセスをデジタル化することにより、大幅に開発期間を短縮すると同時に、コストの削減も図っていきたくと考えています。

それを実現するためには、「極めて精度の高い検討」と「極めて精度の高い意思決定」がデジタルで行われる必要があるのです。その中では立体視などいろいろなものを期待していますが、今回のCrystal LEDをデザインの間段階での検討などに、最終のプレゼンにも使うことも出てくるかもしれませんが、より精度の高い確認をデジタルを使って行いながら「極めて精度の高い意思決定」、あるいは「極めて精度の高いもの見方」もそれ自体を高めていきたいと考えています。

検討・意思決定を行うためには、確認するツール（ディスプレイ）にも非常に高い精度が求められます。

このような背景において、従来のLEDと異なり、粒子が非常に細かいCrystal LEDは、デザインの面の表現力や再現性に優れ、我々の求めるレベルの検討と意思決定が可能だと感じています。

02 Topが語るCrystal LEDのアドバンテージ

The top of the design department talks about the advantages of Crystal LED

Crystal LEDをソニーさんの本社で拝見しました。私の知っているLEDというものは粒子が粗かったのですが、それがソニーさんの本社で見た時の、ここまでの面の質感、コントラストを見てとれたのは非常に驚きでした。特に黒が綺麗でした。車は影と光のあたる部分とのコントラストで立体を表現していきますが、これは命でもあるのです。命であるところが非常に綺麗に見えました。反射を気にしてCrystal LEDを選ばなかった会社様もあると思いますが、私たちのプライオリティは「映像のクオリティ」でした。そういった意味では他の会社様とは違うディジョンを行いました。

いくつか他のディスプレイとの比較検討も行いました。LEDでもいくつかタイプがあります。1つのポイントは、やはりLEDの場合、どうしても粒子が粗いためか、ある程度の距離を保たないと画像の全体の精度がどうしても甘くなる場所があったのですが、Crystal LEDは非常に細かいLEDの粒子なので、面の表現力などあるいは精度みたいところについて高いものを期待できると思っています。

繰り返しになりますが「黒などの色の表現力、鮮明度合い」が非常に優れていると思います。インテリアの内装の素材感というものがありますが、例えば皮シボがあったりあるいは起毛があったり、シートの素材などそういったものまで全て細やかにこのCrystal LEDが再現できるか、まだ全てを確認できていないのですが、ステップを追いながら確認を出来ればと思っています。

データの量と精度によって、フルにデータが揃えばよく見えるというのは分かるのですが、もう1つの側面として、「ラフなデータでもある程度は見える」というのもデザイン開発ツールとしては大切です。

Crystal LEDはどちらかというとプレゼンテーションツールというよりは開発の中で使うツールとして考えています。データ量がラフな状態でも確認できる、あるいは表現性があるなど、そういうところでも期待をしています。このあたりはスピード感をもって精度の高いものを求めていくのにも関係してきます。スピードは非常に重要と思っています。



03 新たな希望

New hope

暗い中で面を見ることは最初は集中できるのですが、長くやっていると非常に体に負担がかかる場合があります。やはり明るいところで確認ができる、しかも高輝度でそして面の豊かさはやはり今までになかったものと感じます。

昨今、車づくりにおいて、パーシブドクオリティが重要視されています。その為に高い精度でのフィット・アンド・フィニッシュの確認が必要です。4Kや8Kのデジタルデータで精度の高い評価ができるようになれば、試作車をつくる前に実車サイズで、フィット感と仕上がりまでも確かめることができる。Crystal LEDにはそれを実現できる可能性があると感じています。

近年、デジタル段階での色の検討が非常に重要になっています。その面でもCrystal LEDの色や輝度の高再

現性を活用すれば、今までにないカラー開発もできるのではないのでしょうか。さらに、Crystal LED を用いれば、先ほども言ったように、ラフなデータであってもある程度デザイナーの意図が汲み取れて、評価することが可能になると感じています。ラフデザインの段階での評価精度を高められれば、デザイン開発のスピードを劇的に速めることが可能です。このようにCrystal LED の活用とその効果には、非常に大きな期待を寄せています。

開発は毎日のように進んでいきます。メンテナンスサポートについては、使っていると質・画像の質が落ちてくる時がありますよね、そういう時にすぐリセット出来て精度が高く良い状態を継続できるというのが非常に重要です。そういった面でメンテナンスサポートに期待しているところは多くあります。

04 共信コミュニケーションズ

Kyoshin Communications

導入に至るまでの詳しいやりとりは信頼する竹林に任せていました。共信コミュニケーションズさん、それからソニーさん、どのあたりのどこまでがどちらなのかといった境界線のようなものは正直詳しく分かっていない部分ではありますがそれは一体となって纏まって取り組んで頂いたからだと思います。

ユーザーに寄り添い、よりユーザーに近い方、つまり使い勝手の部分など、より私たちに近い側にいるのが共信コミュニケーションズさんだと思っています。それと共信コミュニケーションズさんは色々な会社の情報も持っていると思います。今後も是非良くして頂きたいと思っています。色んな検証をCrystal LED ディスプレイで行っていく予定です。行っていく中でデータの見え方など、共信コミュニケーションズさん、そしてソニーさんに随時相談を出来ればと思っています。

アレックスandro・ダンブロシオ様
デザイン本部 エグゼクティブ・デザイン・ダイレクター



01

デジタルプロセスでのデザイン開発

02

Crystal LEDのアドバンテージ

03

新たな希望

04

導入エピソード

01 デジタルプロセスでのデザイン開発

Design development in digital process

私は三菱自動車のアドバンスデザインのエグゼクティブ・デザイン・ダイレクターです。日本の岡崎、東京に加えて、フランクフルトのスタジオも担当しています。デジタルプロセスでのデザイン開発経験を生かし指揮を執っています。

このようなツール（Crystal LED）は非常に私の業務にとって重要です。昔はこのようなツールが無い時はマニュアル作業が多くありました。そして非常に非効率でした。

普段はメインオフィスであるこちらの東京デザインスタジオにいますが、それぞれの拠点で進行しているプロジェクトの進捗状況によって、東京-岡崎を往復しています。加えて、約30人のメンバーが所属しているフランクフルトのデザインセンターも担当しています。

東京デザインスタジオは建屋のリノベーションが終わったばかりですので、まだまだ使っている頻度はそれほど多くありません。岡崎デザイン本部では何度もCrystal LEDを使用しましたが今のところメンバーからはポジティブなコメントしか聞いていません。

これからこの東京デザインスタジオの環境をいかに活用していくかを検討しています。3Dは勿論、その他にもプレゼンテーション、スケッチ、パワーポイント、技術検討など、今はとにかくCrystal LEDに慣れて、この美しいツールの活用方法を考えているところです。できるだけ毎日使用したいと考えています。

Crystal LEDとサーバ間のファースト・リアクションにも期待しています。Crystal LEDではなく社内の問題ですが、現在、三菱自動車社内のインフラは共通化されており、同時にサーバの読み込みが走った場合、帯域が足りない場合があります。サーバのパフォーマンス強化も検討したいと思います。

毎日Crystal LEDを活用することを検討しています。我々のデザインチームだけでなく、トップマネジメントにもご覧頂く機会を増やしたいと思います。

I am Mitsubishi Motors Advanced Design Executive Design Director. In addition to Okazaki and Tokyo in Japan, I also handle the studio in Frankfurt. I take command by utilizing my design development experience in digital process.

Such tools (Crystal LED) are very important to my work. There used to be a lot of manual work when there were no such tools. And it was very inefficient.

I'm usually in the Tokyo Design Studio, which is the main office, but I'm making a round trip between Tokyo and Okazaki, depending on the progress of the projects in progress at each base. In addition, about 30 people. I am also in charge of the Frankfurt Design Center,

Tokyo Design Studio has just finished renovation of the building, so it is not used so often. Okazaki Design Headquarters used Crystal LED many times, but so far the members have heard only positive comments.

We are considering how to use the environment of Tokyo Design Studio from now on. Of course 3D, and other presentations, sketches, power points, technical studies, etc. I am just getting used to Crystal LED and thinking about how to use this beautiful tool. I want to use it as daily as possible.

I'm also looking forward to the first reaction between the Crystal LED and the server. The problem is not internal to Crystal LED, but the internal infrastructure of Mitsubishi Motors is now common, and there may be a shortage of bandwidth if servers are loaded at the same time. I also want to consider enhancing server performance.

We are considering using Crystal LED every day. I would like to increase opportunities to see not only our design team but also top management.

02 Crystal LEDのアドバンテージ

Crystal LED Advantages

Crystal LEDには、大きく2つのアドバンテージがあると考えています。

1つめは「画質」です。仕事柄さまざまなLEDを見てきましたが、Crystal LEDをソニー本社で見た時、その素晴らしい画質の高さに驚いたことを覚えています。前に勤めていた自動車メーカーでは、モニター間にGap（線）があるディスプレイを使っていました。そのため、Gapがあるものにも慣れていますが、線が無いにこしたことはありません。Crystal LEDは、ユニット間のつなぎ目は全く見えませんので、別次元のディスプレイといってもいいでしょう。いったんこのように素晴らしいディスプレイに出会い、使い始めてしまうと、もう以前の線があるディスプレイに戻るのには非常に難しいと思います。

そして2つめは「設置面の柔軟性」です。リアプロジェクターの場合、設置するには画面後方に6m以上のスペース確保が必要になりますが、Crystal LEDの場合は、1m以下でも設置可能。これは東京デザインのように限られた設置環境では非常に重要なことです。メンテナンスの観点においても、プロジェクターより容易。また、暗い場所に限らず、明るい場所でも使用できることは大きなアドバンテージだと感じています。

東京デザインスタジオはそれほど広くはありませんが、我々のブランド価値を高めるアウトプットを出すためには非常に重要な環境です。

昨年11月に初めてソニーさんの本社でCrystal LEDを拝見しました。着任した直後くらいの11月でしたが、私は本当にCrystal LEDのQualityに感動しました。Crystal LEDの画質の高さに本当に驚きました。本当に素晴らしい画質だと思いました。LEDを明るい環境でみることは私にとって非常に重要なポイントでした。実際、何の問題も無く東京デザインスタジオで映像を見ることができます。

私はボス（國本）にも同僚にもこれを導入すべきだと進言をしました。予算問題がクリアできるのであれば、ぜひCrystal LEDを導入したいと思っていましたので、ボスから承認された時は本当に嬉しく、非常に前向きな感情になりました。

また我々が担当するプロジェクトの進捗発表の際に、実寸大のデザインを来場するCEOやその他役員にお見せするにあたり、今回のCrystal LEDのサイズが適当と考えました。

Crystal LED have two big advantages.

The first One is image quality". I've seen a variety of LEDs for work, but I remember that when I first saw Crystal LED at Sony headquarters, I was surprised at the height of its amazing image quality. I used a display with a gap between the monitors at the automobile manufacturer that I used to work for. Therefore, I'm used to monitors with gaps in between, but it is better if there were no lines. The Crystal LED do not have any visible seams between units. It is safe to say that the Crystal LED are displays from another dimension. Once you come in contact with and start using wonderful displays like these, I believe it would be difficult to go back to using displays with lines in between.

The second main point is "flexible installation surface.". In the case of rear projectors, a space of over 6 m is required behind the screen to install them, but Crystal LED can be installed at under 1 m. This is a very important point for limited installation environments such as Tokyo Design. Also, in terms of maintenance, it is easy compared to projectors. Furthermore, I feel the

Crystal LED have a great advantage since they can be used in both dark and bright rooms.

Tokyo Design Studio is not so wide. However, Tokyo Design Studio is a very important environment for producing outputs that enhance our brand value.

I saw Crystal LED at Sony's headquarters for the first time in November last year, about November just after arrival, but I was really moved by the quality of Crystal LED. I thought that the image quality was really great. Viewing LED in a bright environment was a very important point for me. In fact, we can see CG at Tokyo Design Studio without any problems.

I affirmed that this should be introduced to boss (Kunimoto) and colleagues. If I could clear the budget issue, I wanted to use Crystal LED, so when I was approved by the boss, This made me feel greatly positive.

We also show the CEO and other executives the actual design and announce the progress of the project. At that time, I thought that the size of this Crystal LED was appropriate.

03 新たな希望

New hope

Crystal LEDがあれば、車のポリウムやインテリア、もちろん細かな部分もデジタルで確認することができます。かつてはモデルとモデル(モックアップとモックアップ)を並べてレビューする必要がありましたが、今ではCrystal LEDに車を並べて映し、車体の比較だけではなく、さまざまな種類のフロントグリル、ホイールなどを変更しながらレビューできます。

これは非常に効率的で、無駄がありません。クレイモックを並べるレビューもまだ必要ではありますが、Crystal LEDを用いたデジタルライゼーションのプロセスは、それに近い結果をもたらすことが期待できます。

場合によっては非常に工数のかかる作業や確認をスキップすることができるかもしれません。例えば、違う形や色のフロントグリルを見せたい場合、表面、フロントフェイスの変更など、その場で簡単に行い、すぐにレビューできる。Color、Visualization、First reactionは非常に重要な要素です。高精細な映像だからこそ認識を合わせ素早く的確な判断ができるのです。

With Crystal LED, we can digitally check the volume of the car, the interior and, of course, the details. Once it was necessary to review the model and the model (mockup and mockup) side by side, but now, we display the car side by side in the Crystal LED, and compare not only the car body but also various types of front grille, We can do a review while changing the wheel etc.

This is very efficient. I think that a review with claymocks is still necessary, but the process of digitization with Crystal LED can be expected to bring close results.

In some cases, I think that it may be possible to skip very time-consuming tasks and checks. For example, if I want to show the front grille of a different shape or color, I can easily do it on the spot, change the front face, etc. and review it immediately. Color, visualization, and first reaction are very important elements. Only high-definition images allow us to combine recognition and make quick and accurate decisions.

04 導入エピソード

Introductory episode

設置時ちらっと見ましたが、忙しかったので作業の詳細は見ることはできませんでした。設置完了した後、背面を見ましたがユニットがキレイに設置されており感動しました。

また繰り返しですが、限られたスペースに設置し、明るい環境でも使うことができるLEDの技術は我々にとってベストな選択でした。プロジェクターに比べるとこれらの恩恵を受けることができ、これ以上他に言うことはありません。全く問題ありませんでした。満足です。

At the time of installation, I was too busy to see the details of the work. After installation was complete, I looked at the back, but the unit was beautifully installed and I was impressed.

Again, LED technology, which can be installed in a limited space and used in bright environments, was the best choice for us. I will receive these benefits compared to a projector. There is nothing more to say than this. There was no problem at all. I am satisfied.

竹林 恵司様

デザイン本部 デザインマネジメント部長



01

精度の高い判断を導き出す

02

検討時の印象的な出来事

03

導入エピソードと新たな希望

04

共信コミュニケーションズ

01 精度の高い判断を導き出す

Derive highly accurate judgment

私は、デザインのモデル製作と、それをビジュアル化するチームの統括に加え、設備の導入や運用管理、予算管理などを担当しています。立場として、不安だったのは「間違っただけで判断されているのではないか」という点です。おそらく使われている方はそれが現実なのでその中で判断しにくく、正しいと思いついていく、それで結果が出た時に「何か最後ものと違う」という経験をされると、やはりプロセスが進まなくなり、会社としても良い話ではないものですから、そういった課題、「デザインデータをどうやって正確に確認してもらい、精度の高い判断をしてもらおうか」という課題を、常に抱えていました。

東京にデザインスタジオを創るのでどのようなディスプレイの導入を行うかという始まり方ではなく、デザ

イン本部としては「常にデータをどのように確認するか」という問いを持っていて、「常にリサーチ」を続けてきました。そのような中で今導入するのであれば、どのようなものが存在しているのか、私が把握しているものと共信コミュニケーションズさんからご紹介頂いたものを総合的に検討していきました。

明るい部屋でも確認が可能で、クオリティに関しては出来る限り現実に近いものを表現できるものが必要でした。映像を見て決めた後、実際の物と差異がないということが選択していく上で大きなポイントでした。その上で今現時点で画質で選ぶのであればCrystal LEDがベストである、という説明を社内で行いました。コスト的な比較等も行いどれが妥当であるかそのような説明も行いました。

メンテナンス、設備や建屋とマッチするかどうか決め手になったと思います。東京デザインスタジオは都心の限られたスペースですから、「なるべく少ないスペースで設置導入が出来る」という条件が存在しました。Crystal LEDは、それに合致するのが大きかったです。

メンテナンスの面ではプロジェクターのランプで言うところやはり寿命が短くて劣化が激しいですから、導入管理を行なう立場としては品質の維持が難しいと思いついて、トラブルもやはり想定しないといけないというのは頭が痛い点でした。Crystal LEDはまだ使った経験がなかったのですが、今までお聞きしていた話から、長く使えると思っていますのでそこも魅力だったのは間違いのないポイントです。

02 検討時の印象的な出来事

Impressive things when considering

導入検討時に印象的だったのは、ソニーさんの本社
のCrystal LED の前で見た、國本とアレックス（ダン
ブロシオ）の反応です。ソニーさんの本社でCrystal
LED を見た瞬間に、本当に驚かれていました。

アレックスは、Crystal LED を見るまではグリッドが
入ったタイプのマルチディスプレイでもいいとは言っ
ていたのですが、実際にCrystal LED を見たら、「こ
れだ! 」と、「費用が許すのであればこれにしたい」
となっていました。そういった意味ではソニーさんの
本社で見たところで大きく変わったと思います。

國本はいろいろと重い責任を背負っていますので、そ
んなに簡単には言えないと思うのですが、やはり品質
がここまで上がると「本当にこれで確認が出来るかも
しれない」と感じたのは間違いなくあったと思います。

事実、國本は「これは非常に良いものだ。これだっ
たらフィット・アンド・フィニッシュなどディテールも
確認できるかもしれない」と驚き、アレックスは「こ
れはimpressiveだ」と喜んでいたことを覚えています。
最終的にCrystal LEDを選択するに至る大きなポイント
になったと思います。

03 導入エピソードと新たな希望

Introductory episode & New hope

組立最中のまだ何も映像が表示されていない真っ黒
なCrystal LED の前にいた時ですが、「こんな反射が
するのか! 」と心配になりましたが、組立調整が終
わって実際に映像を出すと心配が一気に拭き飛び「大
丈夫だ」となり、安心した瞬間が大変印象的でした。

設置の時に驚いたのは、とても丁寧であったことつ
まり、凄い精密作業であったということです。「やはり
Crystal LED は違う」というのは本当に思いました。

運用を管理する立場としてはCrystal LED が仕事をよ
りクリエイティブなものにし、さらにプロセスを効率
化するツールとして社内に広がってほしいと願って
います。そのためには生産性やモチベーション、探求心
など良い状態をキープしていくことが大切です。この
Crystal LED というツールがその一助となってくれる
ことを期待しています。そういった時に、信頼性に関
係してきますがCrystal LED を常に良い状態をキープ
するというのが大事ですし、使いにくいとなってしまう
とユーザーとの距離が離れていってしまうので、な
るべくそういうことを無くす、そういったことも共信

コミュニケーションズさんソニーさんと協力しながら
やっていければなと思っています。

普段から使用しているアプリケーションソフトがあり
ますが、その画面をCrystal LED に実際に映し出し、
デザイナー達が集まり議論していた時に私も映し出さ
れていた画面を見て、「やっぱり今まで見ていたもの
とは全然違う」と思いました。奥行きも感じますし立
体感とか重みみたいなものも感じられますので、「こ
れはやっぱり何かがわかるかもしれない」と素直に思
えたのが大変印象的でした。

デザイン開発プロセスがCrystal LED によって効率化
を実現することが出来て、今までですと実際作って確
認をしなくてはいけなかったものをCrystal LED を
使ってもっとクイックに確認が出来て、その分いろ
んな人が違うことが出来て、違うことが出来れば当然
最終アウトプットの質が上がってくると思っています。
そこに貢献するようなツールにCrystal LED が成って
いければいいなと考えています。

04 共信コミュニケーションズ

Kyoshin Communications

今回、Crystal LED を含めシステム全体ではGPUワークステーション、カンファレンスシステムを導入しました。当然、様々なメーカーの製品を取り入れていく必要がありました。そのような中で共信コミュニケーションズさんに全幅の信頼をおきました。

正直、不安はないことはなかったのですが、とは言っても我々のニーズがまず大きいところがありまして、レイトレーシング等で極力CG データをクイックに映せることしかも、投資できる費用内においてネットワークなど我々のインフラ等もふまえながら、音ですとか、Video Conference も要求させて頂きました。そういったありとあらゆるものまでを統合すると、どうしても不安にならざるをえなくなるのは間違いないのですが、その中で今までお付き合いのあった共信コミュニケーションズさんは信頼できるパートナーだと思っていますので、そこは信頼して取り組んで頂いており、第一のポイントだと思っています。

共信コミュニケーションズさんは、いくつかこういったものがあるのですが、こちらを選ぶとこうなりますなど、違うこちらの方を選ぶとこうなりますなど、必ず複数のものを提案してくださいました。それぞれのメリットとデメリットが聞くことができ非常に助かりました。

我々が社内の現場サイドから要望をうけて進めていくというのは、どれも期間が短いのですが、その中であれもやりたい、これもやりたいといった自由な発想に基づいたある意味では我儘なニーズも多いです。それを今回助けてくれたのが共信コミュニケーションズさんです。やはり凄い動きも早く知識も豊富、アレンジも凄いフレキシブルに対応してくださるので大変助かりますし、実際に導入したものに問題があるかというところ、決してそのようなことはなくスムーズに使えているものですからこれは凄いなと思って、そこも信頼するところでした。我々にとって重要なスピードとクオリティがあるということだと思っています。

マルチベンダーとして複数の提案を行なってくださいました。その中でソニーのCrystal LED が今現時点ではより良いものだということが良く分かりました。

幅広く提案をおこなって頂きまして例えば、我々社内では私がいくら頑張ってもソニーさんの物が良いと発言しても、やはり1つだけとなると絶対納得しないですが、そういった時にやはりこれだけの比較検討を行ない、ほぼ網羅しきれたと思う事が非常に大事でして、そういった部分を今回しっかり段取りして下さり、説明の情報を入れて頂いたというのは決め手になったと思います。



長田 篤様

デザイン本部 主任



01

高精度な評価を

02

導入エピソードと新たな希望

03

共信コミュニケーションズ

01 高精度な評価を

Highly accurate evaluation

私は、IT系設備導入・運用の担当、およびCG制作を担当しています。これまでデザインの評価は、暗い部屋においてプロジェクターで投影したり、マルチディスプレイに映したりしており、色のズレや階調の甘さが気になっていました。そのような状況下で、果たしてデザイナーが制作したデザインがCGを通して経営陣の目に正確にとどいているのか、常に疑問に思っていました。

2、3年前から共信コミュニケーションズさんにご協力頂いて様々なディスプレイについて調査を行いCrystal LEDの性能であれば、「デザイナー・CG制作者の意図したデザイン・色が経営陣の目に正確にとどけられる」と感じました。自分たちが作ったものを評価して頂くといえますか、ご覧頂く時に、Crystal LEDのクオリティがあると、やる気でしたり、モチベーションの向上にもつながると感じました。

Crystal LEDの解像度感、暗部のグラデーションを表現する力は凄いと感じます。CGコンテンツ制作側は、逆に「きっちり作り込まないとごまかせない」といいますか。以前は本当の画像ではしっかり暗部の階調を表現できているにもかかわらず、プロジェクターに投影すると暗部の階調、黒が潰れてしまっていたことがありました。Crystal LEDはそういったところもしっかり表現出来ていると思います。

Crystal LEDのユニットが組み上がり、映像を表示するための調整を行っている、多くのデザイナーから「いつから使えるのか」「どうやって使うのか」という問い合わせがありました。その中には、スケッチを映してレビューできるようにしたいなど、具体的な活用アイデアもあり、Crystal LEDの導入によってデザイナーの意識にも多くの変化があったと感じています。「綺麗な画面」と言われるくらいかなと思っていたの

ですが、あれにもこれにも使えそうですなど、こういったことにも使いたいのので使い方を教えて欲しいなど、様々な事を言われますので導入担当としては、それなりに苦労した甲斐があったと実感しました。

岡崎では実際の運用が始まっていますがデザイナーたちが自分たちで使えるようになっているので、もう毎日使っています。今までのプロジェクターやマルチディスプレイでスケッチを映すとラインがぼやけてしまったり、デザイナーが表現したいグラデーションが表現できなかったりしました。そのため以前は、スケッチをプリントアウトして壁に貼って評価していました。Crystal LEDであればスケッチを正確に表現できます。さらにアプリケーション次第では拡大・縮小、切り替えをしながら高精度な評価をスムーズに実施することも可能です。これまでのプリントアウトではできなかった評価プロセスが実現できると感じています。



02 導入エピソードと新たな希望

Introductory episode & New hope

組立途中からではなく最初から見ていたためか「こんなにも簡単には積みあがっていかないものなのかもっと早く積んでいけばいいじゃないか!」と思いながら見ていました。実際に作業を行っている詳細の説明を聞くと、やはり大変細かい単位での合わせ込みと調整をやりきっているという事が分かりましたので

「ここまでやるのか!」と内心非常に驚いて感心しました。

期待とは違うかもしれませんが、私はCG制作担当者であるので「Crystal LED ディスプレイに耐えうるコンテンツをどうやって作っていくか」不安も大きいです。Crystal LEDはもの凄く性能がいいので今までのCGですと「映しても物足りない」「作り込みがさら

に必要」となってくるので、その辺をどのように実現していくかという事と、実現した時にやはり評価の精度が上がるのではないかなと思っています。つまり課題であり、実現したいことであり、期待しているところでもあります。

Crystal LED は高い頻度で使いますし、TOP 層へのプレゼンテーションに使用する時もあると思いますので、トラブルが起きた時に迅速にどこまで対応できるか、というのが非常に胆かなと思っています。その点も期待してまして、実際にこの前も一枚色がおかしくなったのですが、すぐ次の日に共信コミュニケーションズさんとソニーさんに来て頂いて大変助かりました。

03 共信コミュニケーションズ

Kyoshin Communications

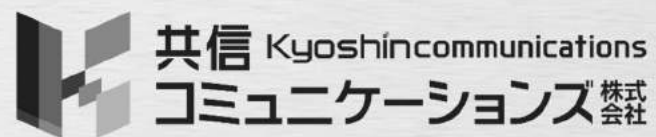
とにかくレスポンスが早いです。当然僕らは無茶なことも言う時があるのですが、知らないことでも凄いスピードで調べて凄く詳しく答えが返ってきますので、大変信頼できますし信頼しているところではあります。

Crystal LED 自体が非常にセンシティブなところがあります。例えば、触れたり、ちょっとでも当てたりすると欠けてしまうなどそういった話もありまして、どのように対策、ガード等を施していけばいいかなどそういった点でも共信コミュニケーションズさんは色々ご相談をうけて頂いて、こうするといいですよ、こういった事例がありますなどをアドバイス頂いたので大変助かりました。

Crystal LED の購入決定後、実際に導入設置を行なうまでの期間が本当に短く手続きもそうですがいろいろとタイトで大変でした。そのような中、共信コミュニケーションズさんからご提案頂いた内容には、リスクの説明もあり、こちらはこうでこうなります、別のこちらはこうでこうなりますなどの情報がありましたのでゆっくり決めていく時間的余裕も無かった中で大変ではありましたが、スピーディーに決断をして進めていくことが出来ました。

SPECIAL THANKS

Mitsubishi Motors Corporation



Copyright.KYSHIN COMMUNICATIONS CO., LTD 2019

本社	〒141-0001	東京都品川区北品川5丁目9番11号	大崎MTビル
赤坂テクニカルセンター	〒102-0083	東京都千代田区麹町5丁目7番2号	
東北営業所	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町1丁目1番8号	青葉パークビル
信越営業所	〒390-0811	長野県松本市中央1丁目21番3号	長野県理容会館
東海営業所	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄1丁目13番2号	愛織第2ビル
近畿営業所	〒541-0053	大阪府大阪市中央区本町1丁目8番12号	オーク堺筋本町ビル
九州営業所	〒810-0073	福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号	天神フロントスクエア